

ご支援ありがとうございました

■ たすきリレー参加チーム名

(敬称略申込順、番号はゼッケンNO.)

- 1 藤井産業①、2 藤井産業②、3 藤井産業③、4 NONAC、
- 5 Y3宇都宮、6 ケージクラス、7 高村保険事務所、
- 8 KOUTAチーム、9 NEOグループ、10 上野文具、
- 11 富士ゼロックス栃木①、12 富士ゼロックス栃木②、
- 13 富士ゼロックス栃木③、14 富士ゼロックス栃木④、
- 15 富士ゼロックス栃木⑤、16 富士ゼロックス栃木⑥、
- 17 田上財務経営センター、18 宇都宮ワイズメンズクラブ①、
- 19 宇都宮ワイズメンズクラブ②、20 YFファイヤーズ、
- 21 明治の館、22 オカダ①、23 グループサカモト①、
- 24 マロニエ交通、25 岩村建設行けメンズ、
- 26 宇都宮東ワイズメンズクラブ、27 ウィズテック、
- 28 マイホームきよはら①、29 マイホームきよはら②、
- 30 さくらんぼ幼稚園①、31 さくらんぼ幼稚園②、
- 32 NTT東日本栃木支店、33 グループサカモト②、
- 34 沼尾医院、35 タチバナ商事、36 創電社①、37 創電社②、
- 38 大洋電気工業①、39 トライ、40 宇都宮ヤクルト販売、
- 41 富士通栃木支店、42 コーギーズ、
- 43 宇都宮ペンチャークラブ、
- 44 ワンコインさくらんぼチーム、
- 45 ワンコインY3宇都宮チーム①、46 オカダ②、47 白澤病院、
- 48 ワンコインY3宇都宮チーム②、
- 49 富士電機ITソリューション、50 ぼレアフ チーム、
- 51 大洋電気工業②、52 岩村建設ダンディーズ、
- 53 アクティオ、54 日立キャピタル、
- 55 那須ワイズメンズクラブ

ご支援ありがとうございました

■ Official Sponsor ■

三菱商事株式会社、富士通株式会社

■ 協賛企業・団体・個人

(申込順・敬称略)

協賛物品

- 1 COSTCO、2 アメアスポーツジャパン、3 雅秀殿、4 三上正、
- 5 ナンプハウジング、6 栃木銀行、7 大塚製薬、
- 8 富士ゼロックス栃木、9 経済同友会、10 キリンビール、
- 11 足利銀行、12 宇都宮中央ライオンズクラブ、
- 13 ブラザ・タケイ、14 Y3宇都宮、15 日本栄養給食協会、
- 16 伊藤園、17 プロテックコーポレーション、18 松本利馬、
- 19 日産自動車栃木工場、20 小手森起子、21 アジア学院、
- 22 Relaku Rhythm

協賛金

(一口5,000円以上)

- 1 白澤病院、2 ウッドワン、3 田中工業、4 高柳電機工業、
- 5 太陽警備保障、6 有明機械、7 カナメ、8 山口住宅産業、
- 9 足利ワイズメンズクラブ、10 リスランニングチーム、
- 11 山陽シーエム、12 デリアス、13 中村メンタルクリニック、
- 14 菊地自動車修理工場、15 永大産業、
- 16 セラピーサロン菜の花、17 大建工業、18 サンワ、
- 19 水上木材工業、20 フケタ設計、21 西那須野幼稚園、
- 22 岩村建設、23 富士機材、24 岡田千歳、25 Y3宇都宮、
- 26 さくらんぼ幼稚園、27 Challengedグループ、28 伊澤智昭、
- 29 橋本佳子、30 ダイワボウ情報システム

※ワンコイン協力者 約160名

広告協力

- 1 水上木材工業、2 関東総合企画、3 Relaku Rhythm、
- 4 トヨタカラー栃木、5 国際ソロプチミスト宇都宮、
- 6 大洋電気工業、7 北関東総合警備保障、
- 8 さくらんぼ幼稚園、9 渡辺有規建築企画事務所、
- 10 マルフクアパート、11 藤井産業、
- 12 リンク栃木プレックス、13 栃木サッカークラブ

協力団体

- 1 とちぎユースワークカレッジ、2 宇都宮短期大学、
- 3 宇都宮文星女子高等学校、4 さくらんぼファミリー、
- 5 あすなろ作業所、6 コパン、7 泉が丘ふれあいプラザ、
- 8 よさこいグループ「勢や」

「被災地の障がいのある子どもたちの笑顔のために」



第6回とちぎYMCA チャリティーラン 報告書



日時 2011年6月26日(日) 9:00~14:00

会場 栃木県総合運動公園 陸上競技場

主催 (財)とちぎYMCA
日本YMCA同盟国際賛助会
ワイズメンズクラブ(宇都宮・宇都宮東・足利・那須)

後援 内閣府、厚生労働省、全国社会福祉協議会、栃木県、
栃木県教育委員会、栃木県社会福祉協議会、宇都宮市、
宇都宮市教育委員会、宇都宮市社会福祉協議会、
宇都宮市障害者福祉会連合会、栃木県看護協会、
下野新聞社、NHK宇都宮放送局、とちぎテレビ、
栃木放送、エフエム栃木、宇都宮ケーブルテレビ

■ Official Sponsor ■



とちぎYMCAチャリティーラン事務局



〒320-0041 栃木県宇都宮市松原2-7-42
TEL:028-624-2546 FAX:028-624-2489
e-mail: ymca@tochigiymca.org

たすきをつないで！
ゴール！

「勢や」の華麗なパフォーマンス

販売コーナー

チャリティーランとは・・・

●心身に障がいのある子どもたちを対象として、全国のYMCAではいくつものプログラムを実施しています。「チャリティーラン」はこれらの活動を実施するための支援金を集めることを目的としたチャリティーマラソン大会です。

●東京YMCAでは、在日大使や外資系企業で構成するボランティア委員会と日本YMCA同盟国際賛助会が主催し、実施されています。

昨年は北海道、仙台、栃木、埼玉、御殿場、千葉、東京、横浜、山梨、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、福岡、鹿児島で開催されました。

●チャリティーランは駅伝式レースです。各チームが競うと同時に、心身に障がいのある子どもたちを支援することの大切さを分かち合うというものです。

●大会はボランティアによって運営され、参加者一人ひとりがこの大会を支え、参加費は子どもたちをキャンプに招待したり活動を支援する目的のために用いられます。

2011年度はチャリティーランの収益金で、下記プログラム実施の支援をしました。

- ・ 仙台YMCAチャリティーランに参加
とちぎYMCAのチャレンジドメンバー・リーダーが、震災を乗り越える第17回仙台YMCAチャリティーランで走りました。
- ・ チャレンジドプログラム支援「ぼっぴこ〜ん」
障がいのある児童・生徒のための放課後児童クラブ
- ・ チャレンジドプログラム支援「レインボー」
発達障害のある小、中学生のためのグループ活動
- ・ チャレンジドプログラム支援「アイスファイヤー」
障がいのある中学生～成人までのグループ活動
- ・ チャレンジドプログラム支援「フレンズ」
障がいのある高校生～成人までのグループ活動

※チャレンジドには「神様からチャレンジすべき課題や才能をあたえられた人」という意味が込められています

第17回仙台YMCAチャリティーランで「心」を一つに、たすきをつなぎました。



第6回とちぎYMCAチャリティーラン開催報告とお礼

大会会長 船津 祥

この度は、私共の活動の趣旨をご理解の上、ご支援ご協力をいただきありがとうございました。ご協賛いただきました標記大会は6月26日小雨の中、栃木県総合運動公園陸上競技場とその周辺で盛会のうちに開催されました。これも偏にご協賛くださいました各位のお蔭と感謝しております。「たすきリレー」には55チーム（去年は50チーム）が参加しました。250人を超えるボランティア、60人を超える障がい児・者。老人ホームからは、車いすで13名の方が応援に駆けつけてくださいました。家族連れなど総勢760人が参加し、一人一人がそれぞれ楽しみながら元気一杯に走ったり、応援したり、スタンプラリーをしたり、よきこいグループ「勢や」と一緒に踊ったり、お楽しみ抽選会など、和やかな交流の場となりました。

この度の収益金につきましては、東北地方の障がいをもつ子どもたちを励ます活動に用いさせていただきました。被災地の一人でも多く子どもたちに元気が与えられることを願っています。この大会が企業と市民の協働として年々県内に拡がりをもせ、誰もが健康で幸せな暮らしができる社会づくりの一助となることを願い、これからもご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

【収入】	単位 (円)
たすきリレー	1,620,000
お楽しみ抽選券	153,500
協賛金、広告協力	408,767
物品販売、焼きそば販売	143,800
合計	2,326,067

【支出】	単位 (円)
会場費	42,840
通信費、備品費、会議費、 交通費、事務局経費	752,189
保険料	51,000
YMCA同盟を通して全国の 障がい児（者）活動支援金	465,214
仙台YMCAチャリティーランに参加	544,996
とちぎYMCA障がい児（者）プログラム 支援金	469,828
合計	2,326,067



競技結果報告

1位 創電社① 30分15秒
2位 NTT東日本栃木支店 30分28秒
3位 日立キャピタル 30分54秒

三菱賞 富士ゼロックス⑤
白澤病院

特別賞 岩村建設 行けメンズ
マロニエ交通

表彰式



震災を乗り越えよう！
メッセージボード



表彰式



スタンプラリー

